

地域包括支援センターだより
ええげえし

「ええげえし」＝「相返し」秩父地域の方言で「助け合う・支え合う」ことを意味します。

第13号（年4回発行）

H25. 6. 1発行

《編集発行》

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

題字：書道クラブ「若竹」萩原初恵 様

介護者のつとめ募集

介護者自身の健康はとても大切です。介護についての知識を楽し

く学びながら、仲間づくりをしませんか。気軽にご参加下さい。

日時	内容	定員	講師
6月20日 (木) 10:00 ～ 正午	「家庭で出来るツボマッサージ、 リラックス体操」 持参品：タオル（体操用） ※動きやすい服装で御参加ください	20名 (申込順)	介護予防運 動指導士 根岸三枝子 氏
7月26日 (金) 10:00 ～正午	「アロマの香りで介護疲れをリセット」 持参品：手ふきタオル	15名 (申込順)	アロマセラ ピスト 新井 幸子 氏
8月26日 (月) 10:00 ～正午	*材料費：500円（当日集金します）		

*場所は、いずれも役場の2階、201会議室

*申込みは、健康福祉課 地域包括支援センター 62-1233

**「支援すること」より「共に歩むこと」
それが「地域包括支援センター」の方針です。**

- ◎病気やケガして・・・、年をとって・・・、今後の生活が心配。
- ◎介護保険制度、生活保護制度、障害者福祉制度など、社会福祉サービスを知りたい。使いたい。
- ◎認知症の対応で悩んでいる。などなど。

地域包括支援センターでは、福祉・介護・保健分野の専門職員が、みなさんと共に寄り添い歩みます。ひとりで悩んだり、迷ったりする前に、ぜひお声がけください。健康福祉課内にいます。私たちが、みなさんの味方になります。

(ちょっと恥ずかしいですが、フォトを載せました。(エヘヘ))



【写真】 右から小池 佳代 保健師・ケアマネジャー
新井 康弘 社会福祉主事・ケアマネジャー
青木 陽子 保健師・主任ケアマネジャー
(健康づくり担当兼務)
山口 聡子 保健師

〈県高齢介護課からのお知らせ〉

コバトンお達者倶楽部 ～外出を楽しみながら健康づくりを～

7月1日から、コバトンお達者倶楽部がスタートします。

目標のお店を1か所決めて、週1回くらいのお出かけ。楽しくお買物などをして、お店で押してもらったスタンプが10個貯まったら、ちょっとしたプレゼントもあります。

定期的な外出という気軽な健康づくりに、ぜひご参加ください。

【対象】 65歳以上の方

【参加方法】

- ①地域包括支援センターでカードを受け取り、登録店を1か所選んでください。
- ②その登録店で買物などをするとスタンプを押してもらえます。
- ③3か月以内に10個のスタンプが貯まったら、その登録店から特典をもらえます。

【登録店】

- ・カードと一緒に登録店の一覧表をお渡しします。
- ・最新の情報は埼玉県高齢介護課ホームページでご案内しています。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/otassha/>

【店舗・企業の皆さまへ】

- ・随時、登録店を募集しています。

【お問い合わせ】

皆野町健康福祉課 地域包括支援センター 62-1233



〈書道クラブ「若竹」からのお知らせ〉

来る7月に1ヶ月間、役場庁舎1階ロビーにて、書道作品を展示します。日頃の活動の成果をぜひご覧ください。また、感想などお待ちしております。会員も随時、募集しています。

(連絡先) 皆野町公民館 電話 62-0454

〈地域包括支援センターからのお知らせ〉

★地域でいきいき生活している高齢の方の情報をお待ちしております！！★

自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集しています！！★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護予防に役買うような活動をぜひおしえてください。

★文化団体連合会の広告掲載を募集しています！！★

(問合せ) 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233 (内線 115・116) FAX 62-2791

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが、できる限り住み慣れたところで、自立した生活が続けられるようにお手伝いします。介護保険サービスや認知症のことをはじめ、生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。ケアマネジャー・保健師・社会福祉主事が、自宅、病院や施設にお伺いします。電話やメールもお受けします。気軽にご相談ください。

高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター (健康福祉課内)

電話 62-1233 内線 115・116

メールアドレス hokatsu@town.minano.saitama.jp

【編集後記】

人と人を理由もなくつなぐ「縁」。生活の中に溶け込み、縁結び・縁切りと見えないものに泣き笑い。そんな「見えない縁」を「見える縁」にする人がいた。先日、国民栄誉賞を受賞した長嶋氏と松井氏である。長嶋氏が引退した1974年に、松井氏が石川県で産声をあげた。松井氏は甲子園で活躍、1992年のドラフト会議で4球団から1位指名。当時の長嶋監督(巨人)が交渉権を引き当てた。日本とアメリカで活躍後、長嶋氏と同じ年齢で引退。そしてW受賞。表彰式は、ふたりの背番号の2013年5月5日。あげると切りがない。

「縁」は見えるものか見えないものか・・・は、ともかく、人と人、人と地域、地域と地域をつなげることも担う「地域包括支援センター」は、「地域包括支縁センター」でもありたい。

ペン やす